

◎ 中儲備券聯銀券移出交換規則ニ關スル件

第一 携帶通貨交換額ニ關スル事項

1 移出入共交換限度ハ旅行者一人ニ對シ儲備券一千元（聯銀券百八十圓）迄トス

但シ携帶通貨ニ關シ日本、滿洲、北支、蒙疆其ノ他ノ地域ニ於ケル所定ノ輸出許可證アルモノニ對シテハ其ノ額ヲ限度トス

2 前項ノ限度ハ切符、乘車券、乘船券、飛行機座席證書（一枚ヲ單位トスルモノトシ之カ取扱ハ左ノ通りトス

（イ）半額券及割引券ヲ一枚トシ取扱フコトトシ四半人券ハ之ヲ認メサルモノトス

（ロ）團體乘車券（若クハ團體乘船券）又ハ貸切乘車券ニ付テハ記載人員ニ切符一枚當リ上記交換限度金額ヲ乘シタル額ヲ以テ限度トス

第二 交換場所ニ關スル事項

旅行者ノ出發地ニ於テ交換スルヲ原則トスルモ當分ノ間左ノ通りトシ到着地ニ於ケル交換場所ニ於テモ保管的取扱ヲナスモノトス

1 中支ヨリ北支向旅行ノ場合

（イ）陸路
蚌埠（儲備銀行）

徐州（聯銀）

上海及南京ニ於ケル儲備銀行及正金各店舗

（ロ）海路
上海埠頭（儲備銀行）上海及南京ニ於ケル儲備銀行及正金各店

（ハ）空路

上海及南京飛行場

上海及南京ニ於ケル儲備銀行及正金各店舗

2 北支ヨリ中支向旅行ノ場合

（イ）陸路
徐州（聯銀）蚌埠（儲備銀行）濟南（聯銀）

北京、天津及青島ニ於ケル各聯銀店舖
 上海、南京、徐州各飛行場
 北京、青島及徐州各飛行場
 上海及南京飛行場
 北京、天津、徐州各聯銀店舖
 青島、天津及瀋陽ニ於ケル各聯銀店舖
 航空路
 北京、青島及徐州各飛行場
 上海及南京飛行場
 北京、天津、徐州各聯銀店舖

第三 交換方法等ニ關スル事
 1 私用交換所又ハ銀行ニ於テ携帶通貨ノ交換ヲナス場合ハ切符裏面ニ必ず交換済ミヲ證スヘキ印ヲ押捺スルコト
 2 交換ハ原則トシテ籌備券五元（即チ九十錢）單位ニテ之ヲ爲スモノトス
 3 列車乗務員、船舶乗組員又ハ航空機乗組員ニ付テハ各々其ノ責任者ニ於テ私用交換方法ヲ發給シ一般旅行者ノ交換限度ニ準シ交換ニ應ス
 4 乗船券ニシテ船中ニテ同收スルモノニ對シテハ船長ノ責任ニ於テ私用交換券ヲ發給シ之ニ依リ交換ニ應ス

附記
 一 實施期日ハ（既存ノ交換場所（陸路ハ徐州、蚌埠、海路ハ上海埠頭、空路ハ南京、上海、徐州）ハ四月一日トス

0190

其ノ他ハ準備出來次第トス
 二 本件實施ニ關シテハ儲備銀行ト聯銀間ニ所要ノ手續ヲ取交シ互ニ交換資金ノ潤澤ナル供給ニ援助スルモノトス
 三 本邦中南支間旅行者携帶金交換方法改訂ニ關スル中央決定
 本邦、中南支間旅行者ノ通貨交換ニ付テハ中央ニ於テ關係各省連絡協議ノ結果三月十九日左記ノ通申合ヲ決定右ニ依リ實施スルト共ニ北中南支相互間ニ於ケル通貨交換ニ付テハ現狀ニ於ケル措置ニ委ヌコトニ決定セリ
 ◎本邦及中南支間旅行者ノ通貨交換ニ關スル件（一八九一）關係省申合

一 中南支日本内地間旅行者等ニ對スル措置
 中央儲備銀行ト日本銀行トノ間ニ協定シ交換ハ無手数料トシテ交換ヲ爲シタルトキハ其金額日附ヲ渡航證明書又ハ身分證明書ニ適當記

以シ此ノ上完済印ヲ押捺スルコト
三 中南支臺灣間旅行者等ニ對スル措置

中央儲備銀行ト臺灣銀行トノ間ニ協定ヲ行ヒ左記ニヨリ儲備券對臺
灣銀行赤交換ヲ爲スコト

(一) 交換場所

上海、廣東、厦門、仙頭、(以上臺灣向ケ旅行ノ場合交換取扱機
關ハ中央儲備銀行並ニ臺灣銀行) 臺北、基隆、高雄(以上臺灣)

(二) 交換金額

臺灣銀行券二〇〇圓相當額以內

(三) 交換資金ノ準備方法

(イ) 兩地域交換機關ハ交換用資金トシテ儲備券資金又ハ日銀券資金
所要額ヲ保管金(無利息)トシテ相互ニ預託スルコト

(ロ) 交換機關ハ右資金ヲ(イ)ノ場所ニ配置シ交換ニ應ズルコト

(四) 交換方法

左ノ如ク原則トシテ發給交換主義ニヨリ儲備券對日銀券ノ交換ヲ

爲スコト

(一) 交換場所

上海、南京、廣東、厦門、仙頭(以上内地向旅行ノ場合交換取
扱機關ハ中央儲備銀行又ハ其ノ委託セル日本側銀行等) 東京、
橫濱、大阪、神戸、廣島、吳、門司、福洲、長崎、佐世保(以
上中南支向旅行ノ場合取扱機關ハ日本銀行又ハ其ノ委託セル外
國爲替銀行)

(二) 交換金額

旅行者一人當リ日銀券二〇〇圓相當額以內

(三) 交換資金ノ準備方法等(一)ノ場合ニ準ス

(備考)

一 日本銀行及臺灣銀行ハ關係當局ノ許可ヲ受ケ必要ニ應シ交換場所ノ
増設等ヲ爲スコトヲ得ルコト

二 取扱銀行ハ交換ニ關シ所要ノ公告ヲ爲スコト

三 中南支對臺灣間ニ於テハ暫定的措置トシテ到達地交換ヲ爲シ得ルコト

四 中南支對南方諸地域ノ關係ニ付テハ別途考慮スルコト
三 現行ノ軍票對日銀券交換ニ付テハ軍票ノ受入ノミヲ認ムルコト
右決定ニ伴ヒ現勢ニ於テハ後述ノ通り之カ大要ヲ新聞ニ發表セルノ外
各取扱銀行ニ對シ取扱手續ヲ通牒セルガ内地ニ於テモ日本銀行國庫局
ヨリ内地ニ於ケル交換取扱銀行ニ對シ左ノ通り通牒取扱ノ圓滑ヲ期セ
ル。

(終)

0192

國內第二九號

◎ 本邦、中南支間旅行者携帶金交換取扱ニ關スル日本銀行國庫局通牒

昭和十八年三月三十日

御 中

國 庫 局

來ル四月一日以降中南支那(海南島及香港占領地ヲ除ク以下同ジ)ニ
於テ昭和十二年軍用手票ノ新規發行停止ト共ニ之ニ代リ中央儲備銀行
券(以下儲備券ト稱ス)使用セララルルニ伴ヒ本邦ト中南支間渡航ノ
軍人軍屬又ハ旅行者ニ對シテハ賣店ニ於テ日本通貨ト儲備券トノ相互
引換事務ヲ取扱フコトト相成候ニ付テハ右引換事務ハ別紙「本邦ト中
南支那間旅行者ニ對スル中央儲備銀行券引換手續」ニ依リ御取扱相成
度右ハ昭和十二年軍用手票引換ニ準ズル取扱ナル處左記相違ノ諸點特
ニ御留意ノ上御取扱相成度此段及御通牒候也

追而右諸備券引換事務開始ト共ニ本邦ヨリ海南島及香港占領地以外ノ中
 支那向旅行者軍人軍屬ニ對シテハ昭和十二年軍用手票ノ引換ハナサザ
 ルモ本邦ト海南島及香港占領地トノ間又ハ中南支那ヨリノ旅行者軍人軍
 屬ニ對シテハ當分ノ間從來通り昭和十二年軍用手票ノ引換事務ヲ取扱フ
 ベキモノニ有之候屬念申添候

記

一 諸備券ノ額面種類及邦貨換算價格左ノ如シ

中央諸備銀行券換算價格表

券面額	換算價格
五百圓 (五百〇〇元)	九〇圓 〇〇錢 〇〇厘
百圓 (一〇〇元)	一八 〇〇

種類	額面	換算價格
拾圓	圓 (一〇元)	八〇〇
五圓	圓 (五元)	九〇〇
壹圓	圓 (一元)	一八〇
伍角	角 (二分、一元)	〇九〇
貳角	角 (五分、一元)	〇三六
壹角	角 (十分、一元)	〇一八

(備考) 貳角券ノミ四枚以下、壹角券ノミ四枚以下又ハ貳角券及
 壹角券ヲ取混ゼ五角未滿ノ場合等引換金額ニ一錢未滿ノ
 生ズル分ノ引換ハ爲サザルコト

諸備券見本券ハ追面入手次第送付スベシ
 二 換算ハ諸備券ヲ基礎トスルコト

換算率ハ邦貨十八圓對諸備券百圓ナルヲ以テ邦貨ヲ基礎トシテ換算
 スルトキ、諸備券金額ニ端數ヲ生ズルコトアリ旁々諸備券小額面券
 目下手持ナキ關係上引換ハ常ニ諸備券ヲ基礎トシ諸備券何百何十圓

ニ付邦貨何種トシテ引換請求ニ應ズルコト
 三 儲備券ノ引換ハ外國通貨ノ買入トシテ取扱ハルルコト、引換請求者ヨリ提出セシムル額ハ昭和十二年軍票引換ノ場合ト左ノ相違アリ

		提 出 書 類
		儲備券引換ノ場合
		軍票引換ノ場合
イ、中南支向旅行者 邦貨ヲ儲備券ニ引換 一人二百圓未満ノ場合 一人二百圓以上ノ場合	渡 航 證 明 書 外ニ外國通貨ノ買入 ニ關スル許可證 外國通貨ノ買却ニ關 スル許可證	乗船券又ハ航空券 外ニ通貨携帯ニ關ス ル許可證
ロ、中南支向旅行者旅行中止 儲備券ヲ邦貨ニ引換	外國通貨ノ買却ニ關 スル許可證	乗船券又ハ航空券
ハ、中南支ヨリノ旅行者 儲備券ヲ邦貨ニ引換	通貨輸入申告書寫	日本通貨交付書

(註) 一 外國爲替管理法施行規則第二十六條ノ許可不要限度額ハ本邦通貨及儲備券ノ金額通シテ二百圓相當額トナルコト
 二 引換取扱店ニ於ケル外國爲替管理法施行規則第十五條及第十六條ノ制限又ハ報告ハ免除サルルコト
 三 軍人軍屬ニ對シテハ軍票同様ノ取扱ヲ爲シテ差支ナキコト
 四 損傷儲備券引換ハ別紙損傷中央儲備銀行券引換辦法ニ據リ取扱コト

0194

46

本邦中南支那間旅行者ニ對スル
中央儲備銀行券引換手續

一 中南支那（海南島及香港占領地ヲ除ク以下同ジ）向旅行者ニシテ渡
航證明書（又ハ之ニ準スルモノ）以下證明書ト稱ス。ト共ニ本邦通貨
ヲ提出シ中央儲備銀行券（以下儲備券ト稱ス）トノ引換ヲ請求スル
モノアルトキハ引換ヲ爲シタル上證明書裏面ニ儲備券ノ引換金額及
日附ヲ記入證印シ請求者ニ返付スルコト
前項ノ引換請求金額ガ二百圓相當額ヲ超ユルトキハ外國爲替管理法
施行規則第十五條ノ規定ニ依ル外國通貨ノ買入ニ關スル許可證（以
下許可證ト稱ス）ヲ提出セシメ引換ヲ爲シ證明書及許可證ハ前項ノ
證明書ヲ爲シタル上請求者ニ返付スルコト
二 中南支那向旅行者ニシテ既ニ本邦通貨ヲ儲備券ニ引換ラ受ケタルモ
ノカ右引換濟金額ト通シテ二百圓相當額又ハ外國通貨買入ノ許可金

額ノ限度内ニ於テ更ニ本邦通貨ヲ儲備券ニ引換ノ請求ヲ爲シタルト
キハ引換濟金額ノ裏書アル證明書（又ハ證明書及許可證）ヲ提出セ
シメタル上前號ニ準シ引換ヲ爲シ證明書（及許可證）裏面ニ引換ノ
金額及日附ヲ追記證印ノ上之ヲ請求者ニ返付スルコト
三 中南支那向旅行者ニシテ旅行中止等ノ理由ニ依リ既ニ引換ヲ受ケタ
ル儲備券ヲ更ニ本邦通貨ニ引換ヲ請求スルモノアルトキハ外國通貨
ノ賣却ニ關スル許可證ヲ提出セシメ引換ヲ爲シタル上該許可證餘白
ニ引換金額及日附ヲ記入證印シ之ヲ返付スルコト
四 中南支那ヨリノ旅行者ニシテ稅關ノ證明アル「本邦通貨又ハ外國通
貨輸入報告書」寫ト共ニ儲備券ヲ提出シ本邦通貨ニ引換ヲ請求スル
モノアルトキハ携帶輸入シタル本邦通貨ノ金額ト通シ二百圓相當額
ヲ限度トシテ引換ヲ爲シ該報告書餘白ニ引換金額及日附ヲ記入證印
シ之ヲ返付スルコト
本邦通貨及儲備券ノ金額通シテ二百圓相當額ヲ超ユルモノニ付テハ

外國為管理法施行規則第十六條ノ規定ニ依ル許可アル場合ニ限リ
 許可額ノ限度内ニ於テ前項ニ準ジ引換ヲ為スコト
 三 船用金ニ付許可證ヲ添ヘ又船舶乗組員ノ携帶金ニ付引換請求額内譯
 表(又ハ右内譯表及許可證)ヲ添ヘ本邦通貨ヲ儲備券ニ引換ノ請求
 ヲ受ケタルトキハ第一號乃至第三號ノ規定ニ準シ引換ヲ為スコト
 船用金及船舶乗組員ノ携帶金タル儲備券ヲ本邦通貨ニ引換ノ請求ヲ
 受ケタル場合ハ前號ノ規定ヲ準用シ引換ヲ為スコト
 六 本邦通貨ト儲備券トノ相互引換ハ總手数料ニテ行フコト
 七 本手續ニ依ル本邦通貨ト儲備券トノ相互引換ハ本邦通貨十八圓對儲
 備券百元ノ換算率ニ依リ取扱フコト
 八 取扱店ハ引換請求者ヨリ別紙書式ノ中央儲備銀行券引換請求書又ハ
 日本通貨引換請求書(儲備券引換)ヲ提出セシムルコト
 六 代理店又ハ派出引換所ハ毎月末日別紙書式ノ月中中央儲備銀行券引
 換高表ヲ調製シ中央儲備銀行券引換請求書、日本通貨引換請求書(

中央儲備銀行券引換)等引換證應ヲ添ヘ統轄店ニ送付スルコト

0137

中央儲備銀行券引換請求書

氏名

月 日 向 港出帆場 丸發
飛行場

中央儲備銀行券引換請求書
券面 價 額 代り 金 取扱日附 取扱店蓋印

日本通商引換請求書(中央儲備銀行券引換)

氏名

月 日 港出帆場 丸發
飛行場

中央儲備銀行券引換請求書
券面 價 額 代り 金 取扱日附 取扱店蓋印

△引換額へ取扱店ニ於テ記入ス

中央儲備銀行券引換高表

昭和 年 月 日

代理店(又ハ派田引換所)

件数	金額	件数	金額
儲備券引換拂出高		儲備券引換受入高	

備考 金額欄ニハ邦貨金額ヲ掲記スルコト

旅行券持券者金交換方法試訂ニ關スル新聞發表
 旅行券持券者金ノ取扱方法ハ關係方面協議ノ結果右ノ如ク決定資通
 ルコト、ナリタルヲ以テ現地ニ於テハ四月十日上海大使館ヨリ左ノ
 如ク之カ取扱大要ヲ新聞ニ發表シ一般民衆ニ周知セシムルト共ニ在
 上海公使ヨリ正金其ノ他取扱銀行ニ對シ取扱要項ヲ指示スル處アリ
 タリ。

◎中南支對日本（内地、臺灣）又ハ北支等相互間旅行者携帶金ニ關スル件（二六四〇號）
去ル四月一日ヨリ中南支ノ軍票ノ新規發行ガ廢止サレタメ今後中南
支日本又ハ北支等相互間ノ旅行者ノ携帶金ニ付テモ直接儲備券ト日銀
券又ハ聯銀券トノ交換ヲ取扱フコトニナツタ。其ノ取扱方法ノ概要ハ
左ノ通りデアル

中南支對日本（内地、臺灣）又ハ北
支等相互間旅行者携帶金ニ關スル件
（昭一八四一〇）
上海大使館

第一中南支日本内地又ハ臺灣間旅行者ニ付テ

一 交換通貨及ビ其ノ比率
儲備券一〇〇元對日銀券一八圓ノ比率ヲ以テ儲備券ト日銀券トヲ交
換スル

0200

ニ 交換金額

旅行者一人當リ儲備券一〇〇元（又ハ日銀券一〇〇圓）迄
右ノ限度金額ヲ超エルトキハ所定ノ許可機關ノ交換許可證ヲ呈示ス
ルヲ要スル

三 交換場所

(一) 中南支ヨリ日本内地又ハ臺灣向旅行ノ場合
上海、南京、廣東、廈門、汕頭各地所在儲備銀行、日本側銀行並
ニ華興商業銀行店舗
上海ニ於テハ右ノ外埠頭交換所及ビ飛行場交換所デモ取扱ヒ更ニ
上海兩替所、松川屋兩替部デハ銀行營業時間外及休日ニモ交換ニ
應スル

(二) 日本内地又ハ臺灣ヨリ中南支向旅行等ノ場合
日本デ交換シ中南支デハ原則トシテ交換ノ取扱ヲ爲サナイ但シ特
別ノ事由ノアルトキハ大使館事務所ノ許可ヲ受ケテ上交換ヲ請求

68

スルコトガ出來ル

四 交換ヲ請求スルモノハ切符（乗船券、航空券又ハ之ニ代ルモノ、切符同收後ナルトキハ船長、飛行長又ハ之ニ準スルモノノ證印アル引換請求書）ヲ呈示シ交換濟ノ旨證印ヲ受ケルコト

其交換ハ總テ無手数料ヲ以テ取扱フ
第三 中南支北支間旅行者ニ付テハ從來軍票ト聯銀券トノ交換ヲ爲シテキタノデアルガ之ヲ概ネ從來ノ扱ニ準シ儲備券ト聯銀券トノ交換ニ改メル

一 交換金額

旅行者一人當リ儲備券一〇〇〇元（又ハ聯銀券一八〇圓）迄右ノ限度金額ヲ超エルトキハ所定ノ許可機關ノ交換許可證ヲ呈示スルヲ要スル

ニ 交換場所

（一）中南支ヨリ北支向旅行ノ場合

0201

（イ）海路

上海 中央儲備銀行上海分行、正金銀行上海支店、埠頭交換所

（ロ）陸路

上海及南京 中央儲備銀行上海分行及ビ南京總行、正金銀行上海及ビ南京支店

蚌埠

驛交換所

（ハ）空路

上海及南京 中央儲備銀行上海分行及ビ南京總行、正金銀行上海及ビ南京支店、上海及ビ南京飛行場交換所

（ニ）北支ヨリ中南支向旅行ノ場合

（イ）北支地區内ニ於テ交換ノ事トシ中南支地區ニ於テハ之ヲ取扱ハナイ但シ當分ノ間ハ北支ニ於テ交換ヲ爲シ得ナカツタ場合ニ限リ左記ノ如ク中支内ノ交換所ニ於テモ交換ノ取扱ヲ爲ス

65

陸路ノ場合 蚌埠驛交換所
海路ノ場合 上海埠頭交換所
空路ノ場合 上海及ビ南京飛行場交換所
交換ヲ請求スル者ハ切符(乗車券、乗船券、航空券又ハ之ニ準ズル
モノ、切符回収後ナルトキハ列車長、船長、飛行長又ハ之ニ準ズル
モノノ證印アル引換請求書)ヲ呈示シ之ニ交換濟ノ旨證印ヲ受ケル
コト
四 交換ハ總テ無手数料ヲ以テ取扱フ

◎取扱銀行宛通牒

昭和十八年四月一日

在上海大日本帝國大使館

特命全權公使 田 尻 愛 義

正金銀行外

取扱店宛

旅行者携帶金交換取扱方ニ關スル件

中南支ニ於ケル軍票新規發行廢止ニ伴ヒ旅行者ノ携帶金交換ニ關シテ
ハ左記要領ニ依リ取扱相成度

0202

64

漢口銀行上海支店宛（註）取扱銀行ニ依リ記ノ内容ハ異ルモ大同小異ナリ

記

一 昭和十八年四月一日ヨリ左記ニヨリ旅行者等ノ携帶金ノ交換ヲ取扱
フコト

中支ヨリ日本向旅行者等ニ對シテ

上海及ビ南京支店ニ於テ一人當リ交換金額儲備券一〇〇〇元（又
ハ日銀券一〇〇〇圓）

中支ヨリ北支向旅行者等ニ對シテ

上海埠頭ニ於テ儲備券一〇〇〇元（又ハ聯銀券一八〇圓）迄

但シ當分ノ間ハ北支ヨリノ南下客ニ對シ其ノ携帶通貨ノ儲備券ハノ
交換ヲ取扱フコトヲ得

ニ所定ノ許可機關ノ許可證ヲ呈示セル者ニ對シテハ其ノ許可金額迄交
ニ應ジ得ルコト

ニ交換比率ハ儲備券一〇〇〇元對日銀券又ハ聯銀券一八圓トシ、旅行者

等ニ對シテ無手續料ヲ以テ取扱フコト

四 交換ニ際シテハ旅行者等ヲシテ切符（乗船券、乘車券等）、切符回收

後ナルトキハ船長等ノ證印アル交換請求書（ニ添へ日本通貨（聯銀

券、儲備券）引換請求書（書式一）ヲ呈示セシメ交換済ノ上ハ切符

並ニ日本通貨（聯銀券、儲備券）交付書（書式一）ニ其ノ旨證印ヲ

爲シ之ヲ買取ルコト

五 交換用トシテ日銀券又ハ聯銀券ヲ要スルトキハ儲備券ヲ對價トシテ

儲備銀行ヨリ之ヲ買取ルコト

六 交換受拂高其ノ他參考事項ニ關シ旬報ヲ以テ儲備銀行上海分行宛報

告フコト（書式三）

0203

(音式二) 中央儲備銀行上海分行御中 銀行
 年 月 分
 (一) 交換受拂報告表

事 由	受 入		拂 出		備 考
	口 數	金 額	口 數	金 額	
一般旅行者ニ對スル引換					
對 日 本					
對 關 東 州					
對 北 支					
軍又ハ軍人軍屬ニ對スル引換					
其 他					
總 計					

(二) 幣種別受拂殘高表

種 別	受 入	拂 出	殘 高
日 銀 券			
臺 銀 券			
鮮 銀 券			
日本補助貨 政府紙幣			
滿 銀 券			
蒙 疆 券			
聯 銀 券			
合 計			

0204

(音式一)

日本通貨(聯銀券, 儲備券) 引換請求書

氏 名 _____

乘船名 又ハ飛行機 _____ 月 日 _____ 港出帆 丸 _____ 飛行場出發 _____

(金額) 圓 _____

取扱日附	取扱店證印

日本通貨(聯銀券, 儲備券) 交付書

氏 名 _____

乘船名 又ハ飛行機 _____ 月 日 _____ 港出帆 丸 _____ 飛行場出發 _____

(金額) 圓 _____

取扱日附	取扱店證印

注意 本交付書ハ再度引換其他ニ必要ニ付旅行済迄大
 切ニ保存セラレ度シ

一方中央儲備銀行ニ於テモ鐵副總裁名ヲ以テ正金銀行等各取扱銀行ニ對シ日銀券交換取扱方依頼スルノ外別ニ中國聯合準備銀行トノ間ニ左ノ通り所要ノ協定ヲ爲シ交換取扱ノ圓滑ヲ期シタリ。

◎中南支北支間旅行者等携帶金交換ニ關スル
中央儲備銀行中國聯合準備銀行間協定事項

- 一 中央儲備銀行及ビ中國聯合準備銀行ハ夫々中南支地區及ビ北支地區ニ於テ旅行者等携帶金ニ關スル儲備券對聯銀券交換ノ機關タルコト
- 二 前項ノ交換ハ南下旅客等ニ對シテハ北支ニ於テ、北上旅客等ニ對シテハ中支ニ於テ之ヲ取扱フヲ建前トスルコト但シ蚌埠、徐州兩驛ノ中間驛ヨリ乘車セル場合其他止ムヲ得サル事由ニヨリ出發地ニ於テ交換シ得サルトキハ別ニ指定スル到着地ニ於テ之ヲ取扱フヲ得ルコト
- 三 中央儲備銀行ハ中國聯合準備銀行ヨリ聯銀券ヲ、中國聯合準備銀行ハ中央儲備銀行ヨリ儲備券ヲ夫々相手方ノ保管金トシテ受入レ右保

- 管金ヲ以テ交換ノ拂出ヲ爲シ、代リ金トシテ受入レタル自行券ハ之ヲ相手方ノ預金トシテ整理スルコト
- 四 前「三」ノ交換資金補充ノ爲メ儲備券又ハ聯銀券ノ受渡ヲ要スルトキハ聯銀徐州支行又ハ儲備蚌埠支行ニ於テ之ヲ行フコト、シテ兩行ハ夫々自行券ヲ相手方銀行店舗マデ現送スルコト
- 五 前「二」ノ保管金及ビ預金ハ無利息トシ預金ハ一ヶ月毎ニ中央儲備銀行上海分行對中國聯合準備銀行總行間ニ於テ決済スルコト
- 六 前「三」及ビ「四」ニ於ケル兩通貨交換比率ハ儲備券一〇〇圓對聯銀券一八圓トスルコト
- 七 旅行者等ニ對シ交換ハ總テ無手数料ヲ以テ之ヲ取扱フコト、シテ兩行ハ夫々其交換引受地區内ニ於ケル交換ニ關スル費用ヲ負擔スルコト
- 八 兩行ハ毎月未交換資金受拂高等ニ關シ相互ニ必要ナル報告ヲ爲ス

協定事項實施ニ關スル申合セ事項

(一八五ニ三)

- 一 協定事項「ニ」ノ前渡資金ハ差當リ備備券三〇、〇〇〇、〇〇〇圓、聯銀券一、五〇〇、〇〇〇圓トスルコト
- 二 協定事項「四」ノ決濟ハ備備券資金ヲ以テ之ヲ爲スコト
- 旅行者一人當リ交換金額ハ南下、北上共備備券一〇〇〇圓(聯銀券一八〇圓)迄トスルコト

0206

聯銀券・備備券交換高報告

(中央銀行標準銀行
中央銀行)

月分(月日提出)

前月末殘高 本月中受入高 本月中拂出高 本月末殘高

聯銀券資金
備備券

備考

58

四 北中支間旅行者携帶金交換方法ノ改正
 四月一日ヨリ右決定ニ依リ旅行者ノ携帶通貨交換ヲ實施シ來リタル
 モ北中支間ニ於ケル鐵路ニ依ル旅行者ノ通貨交換實績ハ徐州蚌埠ニ
 於ケル南下客ニ對スル備備券交換高一日平均一八五八千元ニ對シ北
 上客ニ對スル聯銀券交換高一日平均四千圓ニ過キズ、交換ニ依ル備
 備券放出増ハ毎日平均三〇〇〇千元ニ達スルコト、ナリ、一方匯申
 相場ハ二二圓ニ至ニ三圓ハ〇程度ナルニ旅行者ハ備備券對聯銀
 券一八圓ノ比率ヲ以テ交換ヲ受クルニ依リ旅行者ハ交換一回毎ニ市
 場利用ノ交換ニ依ルヨリモ聯銀券五二圓ヲ〇ノ利鞘ヲ受クルコト、
 ナル状態ニシテ不都合ノ結果ヲ生ジ爲ニ兩地金融ニ惡影響ヲ招來セ
 更ニ右ノ如クニシテ調達セラレタル備備券ハ中支物資ノ北支向流出
 中支物價ノ無統制ナル昂騰ヲ來ス虞レ生ジタルヲ以テ關係機關協
 議ノ結果四月二十七日鐵路ニ依ル南下客ニ對スル携帶通貨交換取扱
 ヲ左ノ通り變更五月一日ヨリ實施セリ。

◎北中支旅客携帶通貨交換取扱改正ニ關スル件

- 一 徐州ヲ含ム徐州以南ヨリ浦口迄ノ鐵路旅客ハ一〇〇元ヲ限度トス
- 二 徐州ヲ含ム徐州以南ヨリ南京以南ノ鐵路旅客ハ五〇〇元ヲ限度ト
ス
- 三 徐州ヲ除ク瀋海線ヨリノ鐵路旅客及濟南ヲ除ク濟南以南ヨリ徐州ヲ
除ク徐州以北ヨリノ鐵路旅客ハ總テ五〇〇元ヲ限度トス

備考

- 〔北〕上旅客・濟南ヲ含ム濟南以北ヨリノ鐵路・空路旅客及海路旅客
ハ從來通り一〇〇〇元ヲ限度トス
- 〔南〕三三三等客ニ付限度ノ差別ハ設ケサルコト

第十七 中央儲備銀行券ノ價值維持ノ爲ノ措置

中央儲備銀行券ノ價值維持ニ付テハ從來ヨリ日支兩當局相協力シ實施シ來リタルモ既述ノ如ク四月一日以降中南支ニ於ケル軍票ノ新規發行廢止セラレ、儲備券ハ中南支ニ於ケル唯一法貨トシテノ名實ヲ備フルニ至リタルヲ以テ此ノ際更ニ之カ措置ヲ強化スルノ要アルヲ以テ關係機關係官協議ノ結果左記ノ通措置要項ヲ決定日支兩當局協力シ實行可能ノモノヨリ順次實行ニ移スコト、セリ。

中央儲備銀行券ノ價值維持ノ爲ノ措置

措 置 要 領	措 置 状 況	實 施 擔 當 機 關	同 上 推 進 機 關
第一國民政府ニ對スル民衆ノ信頼ノ強化 1. 囤積問題ノ合理的解決 (イ) 既往囤積者ノ處罰、囤積物件ニ關スル措置 (ロ) 將來囤積者發生防止ニ關スル各般ノ措置 2. 官公吏ノ肅正並ニ待遇改善 (イ) 公務員ノ商業禁止令ノ勸行 (ロ) 官公吏ノ待遇改善 3. 民衆ノ福利施設ノ實行 (イ) 敵産タル文化施設ノ利用 (ロ) 各種難民、貧民救済ノ實施 4. 和平地區民衆ノ重慶及英米依存心ノ脱却ニ努ムルコト (イ) 金融機關ノ敵地取引ノ禁壓	一部實施中 一部實施中 一部實施中 未實施	國民政府 國民政府 國民政府 國民政府	南 南 南 南

0208

(四)重慶公債ノ處理 A 國府遷都前ノモノ、強制借替 B 國府遷都後ノモノ、取引並ニ保有禁止 (一)英米等敵性通貨並証券ノ取引並ニ保有禁止 (二)敵國人ノ抑留制ノ強化 内映畫新聞等文化工作ニ依ル民衆ノ敵性色拂拭	未實施	國民政府	南	大
5、吾方ノ大東亞戰爭完勝ノ見透ヲ周知セシメ戰後ノ經濟繁榮ヲ宣傳シ儲備券ノ價值ヲ強固ナル所以ヲ徹底セシムルコト	一部實施中	國民政府 日本側	南 上	大 大
第一、中央儲備銀行ニ對スル民衆ノ信賴ノ強化 1、中央儲備銀行々員ノ素質ノ改善、特に地方辦事處主任ノ更迭	一部實施中	儲備銀行	南	大

2、既往ノ適當貸出ノ回收、今後ハ銀行以外ニハ原則トシテ貸出ヲ爲サズ、銀行貸出モ嚴選主義ニヨルコト	一部實施中	儲備銀行	南	大
3、銀行主能者ノ一般華商銀行家トノ關係ノ緊密化ヲ圖ルコト(市中銀行ヨリノ信賴ノ強化ヲ圖ルコト)	一部實施中	儲備銀行	南	大
4、銀行經營ヲ國民政府ノ直轄ヨリ分離シ獨立經營形態ニ移行セシムルコト	一部實施	國民政府	南	大
5、上海分行用建物トシテノ中國銀行建物ノ完成ヲ早ク實現シ之ニ移ルコト	一部着手	儲備銀行	南	大
第二、中央儲備銀行券ニ對スル信賴ノ強化 1、儲備券ノ準備ヲ充實シ差當リ國府ニ移管スベキ敵産ノ內適當ナルモノヲ發券準備ニ繰入ルル如ク措置スルコト	未實施	國民政府 中央儲備	南 上	大 大
2、儲備券ノ發行ヲ抑制シ回收ヲ促進スル	一部實施	中國側	同	上

0209

		日本側	
		國民政府	國民政府
		南	南
		大	大
<p>コト(詳細別紙)</p> <p>3. 舊幣使用所持禁止ノ取締ヲ嚴重ニシ特ニ地方錢莊ノ取締ヲ強化シ舊幣ノ取引ノ禁止ヲ勵行スル如ク措置スルコト</p> <p>4. 輔幣券ノ準備充實後ハ舊幣輔幣券ノ使用ヲ禁止スルコト</p> <p>5. 大額券(五百元、千元券)ノ發行ハ避クルコト</p> <p>6. 汚損券ノ交換ヲ圓滑ニシ小額券ノ供給ヲ潤澤ニスルコト</p> <p>7. 支那國內ノ各地向儲備券送金手数料ノ引下ゲニ努ムルコト</p> <p>窮乏金融機構ノ整備</p> <p>1. 中央儲備銀行ノ華商金融機關ニ對スル統制力ノ強化</p>			
一部實施中	一部實施中	實施中	未實施
商業統制總會	商業統制總會	儲備銀行	國民政府
上南	上南	顯	南
大大	大大	問	大
<p>(1) 管理金融機關暫行辦法ニ依ル金融機關ノ統制並取締強化</p> <p>向銀行公會、錢業公會ヲ活用シ之ヲ通スル金融機關ノ統制強化</p> <p>2. 新設群小金融機關ノ整理統合</p> <p>3. 地方ニ於ケル金融機關ノ擴充並ニ整備(中央儲備銀行ヲ中心トスル華人金融機關ヲ以テ形成スベキ地區別金融協議會ノ設置)</p> <p>窮乏經濟界ノ伸長ヲ期スルコト</p> <p>1. 物ノ生産ヲ増加スルコト</p> <p>2. 農産物ノ増加</p> <p>A 農産物收買價格ノ適正化</p> <p>B 見返物資供給ノ圓滑化</p>			
一部實施中	一部實施中	未實施	一部實施中
商業統制總會	商業統制總會	國民政府	儲備銀行
上南	上南	顯	顯
大大	大大	問	問

0210

第五、儲備券ノ放出抑制 1、財政緊縮 財政上ノ支出超過ハ主トシテ吾方軍管	5、証券取引所ノ開設	4、日本其他共榮圈内他地域ヨリノ物資ノ 移輸入ヲ確保シ之ガ配給ヲ圓滑ニスル コト	3、速カニ物價問題ノ合理的解決ヲ圖ルコ ト (イ)現行公定價格制度ノ再檢討 (ロ)農産物買價格ノ合理的改訂	(ハ)物資移動ニ關スル中國側諸税金、課金 ノ合理化、簡易化ヲ圖ルコト	ユト
實 施 中	未 實 施	一 部 實 施 中	一 部 實 施 中	一 部 實 施 中	
日 本 側 官 廳	國 民 政 府	上 商 業 統 制 總 會 大	上 國 民 政 府 大	上 國 民 政 府 大	南 大
軍 南 上 大 大	上 南 大 大	上 南 大 大	上 南 大 大	上 南 大 大	南 大

0211

2、物ノ動キヲ圓滑ニスルコト (イ)全國商業統制總會ノ活動(物資ノ收買 方法並ニ機構、物價、配給機構等ノ改 善、整備) (ロ)和平地區内物資移動ノ制限緩和並ニ可 及的速カニ之ヲ撤廢シ上海ニ貯藏スル 各種ストツク品ヲ市場ニ出シ又ハ農村	工業金融ノ助成	B材料ノ確保(南方ヨリノ原材料供給 ニ努力ス)	上海及周邊地區ノ工業ノ振興	農村金融ノ助成	工業ノ増加
一 部 實 施 中	一 部 實 施 中	一 部 實 施 中	一 部 實 施 中	一 部 實 施 中	一 部 實 施 中
上 商 業 統 制 總 會	上 國 民 政 府 大	上 國 民 政 府 大	上 國 民 政 府 大	上 國 民 政 府 大	上 國 民 政 府 大
上 南 大 大	上 南 大 大	上 南 大 大	上 南 大 大	上 南 大 大	上 南 大 大

<p>之ヲ爲サズ既往分ハ速カニ回收スル コト</p>				<p>應關係ナルヲ以テ多キヲ望ミ得サルベシ</p>			
<p>3、消費ノ規正 (1)貯蓄ノ奨励、生活ノ簡易化及切下ゲヲ 實施シ一般ニ消費ノ節約ヲ實行スルコ ト</p>				<p>2、資金ノ調整 (1)日本側金融機關ノ貸出ハ大使館ノ許可 制トナリ居レル處資金計畫ニ基キ不用 不急資金ノ貸出ハ更ニ極力抑制スルコ ト</p>			
<p>日本側 清郷地區内貯蓄奨励、有 價貯蓄制ノ實施</p>				<p>(2)支那側金融機關ノ貸出抑制 現在ノ處自治的統制ニ委セテアリ、暫ク 其ノ效果ヲ見タル上適當對策ヲ考究ス ルコト尙金融機關ノ内ニ是等銀行ノ下 ニ公會ヲ中心トスル統制ノ強化ヲ實施 スルコト</p>			
<p>日本側 一部實施中</p>				<p>一部實施中</p>			
<p>中國側 未實施</p>				<p>國民政府</p>			
<p>上領事館</p>				<p>大上</p>			
<p>南上</p>				<p>大上</p>			
<p>大</p>				<p>大</p>			
<p>1、公債債券ノ發行消化 (1)日本側國債各種貯蓄債券ノ消化、振興</p>				<p>(2)中央儲備銀行ノ貸出抑制 A 對銀行貸出ニ付テハ嚴査スルコト B 對一般商社貸出ハ原則トシテ今後ハ</p>			
<p>一部實施中</p>				<p>一部實施中</p>			
<p>上</p>				<p>中央儲備銀行</p>			
<p>大上</p>				<p>大上</p>			
<p>大</p>				<p>大</p>			

0212

債券ノ發行				
(四) 中國側國債債券ノ發行	未實施	中央儲蓄會	額	問
A 彩票、其他貯蓄債券ノ發行	一部實施中	儲備銀行	額	問
B 糧食庫券ノ發行 (將來ノ藏入不足ノ場合ヲ考慮ス)	未實施	國民政府	南	大
○ 國府公債ノ發行	未實施	國民政府	南	大
2. 貯蓄ノ獎勵	一部實施中	上	大	大
(イ) 日本側	未實施	國民政府	南	大
(ロ) 中國側	實施中	上	大	大
3. 日本向送金手續ノ簡易化	實施中	上	大	大
4. 金融機關ニ依ル預金吸收工作	實施中	上	大	大
(イ) 日本側金融機關	實施中	上	大	大
A 普通銀行預金	實施中	上	大	大
B 貯蓄預金	實施中	上	大	大
○ 信託預金	實施中	上	大	大
D 保險	實施中	上	大	大

(四) 中國側金融機關	一部實施中	國民政府	南	大
A 銀行	一部實施中	國民政府	南	大
B 錢莊	國民政府	儲備銀行	南	大
5. 國民政府移管敵產物件ノ一部ノ市中賣出	未實施	國民政府	南	大

(0213

一 中國、交通兩銀行處理方針

中國、交通兩銀行ノ措置ニ關シテハ既ニ第四編ニ於テ記述セル處ナルモ本編ニ於テハ主トシテ中交兩行處理日誌混合委員會ノ議事録ヲ中心トシテ補足約ニ記述スベシ。

昭和十六年十二月八日大東亞戰爭勃發ト共ニ皇軍ノ租界進駐以來重慶政權ノ機關銀行タリシ中、中、交、農四行ハ米英蘭白等敵國銀行ト共ニ差押ヘラレ爾來軍管區下ニ吾方ニ於テ銳意調査中ナリシガ其内容ヲ明確ニ把握スルヲ得タルヲ以テ、五月二十七日國民政府周財政部長ノ新舊法幣全面交談ニ關スル聲明發表ト同時ニ上海方面並海軍各最高指揮官ヨリ中央、農民兩行ハ其敵性顯著ナルヲ以テ清算閉鎖セシメ、中國、交通兩行ハ中文部ノ金融安定ヲ圖リ國民政府ノ民心把握ヲ期スルノ目的ヲ以テ大乗的見地ヨリ重慶側トノ關係斷絶等適當ニ改組ノ上復業セシムル旨ノ佈告ガ發セラレタリ。亦國民政府

ニ於テモ右四行ノ處理ニ關スル財政部佈告ヲ發セリ。(第四編參照)

二 中國、交通兩銀行處理要綱

爾來兩行ノ改組復業ニ關シテハ日本側當局ト國民政府トノ間ニ於テ再三、再四協議ノ結果左ノ如キ根本方針タル「中國、交通兩銀行處理要綱」決定セリ。

◎中國、交通兩銀行處理要綱

中交兩行ノ金融安定ヲ圖リ國民政府ノ民心把握ヲ期スルノ目的ヲ以テ、中國、交通兩銀行ヲシテ其ノ本店ヲ上海ニ移シ、舊株主ニ對シテハ新株式ヲ交付シ、重慶政權分ハ國民政府ニ於テ繼承セシメ、兩銀行ノ役員ハ中央儲蓄銀行ノ施設ニ全面的ニ協力スルモノヲ選任スル等重慶側トノ關係ヲ適當斷絶ノ上新機構ノ下ニ經營セシムルモノトス。

一 資本金ハ新法幣進ヲ以テ中國銀行二千萬元、交通銀行一千萬元トシ右資本金ハ全額拂込トシ夫々中文部(漢口ヲ含マズ)所在ノ兩銀行所屬ノ純資産ヲ以テ之ガ引當トナスコト

三 中國銀行株式一千萬元ハ國民政府ノ持株トシ額額一千萬元ハ民間ノ持株トスルコト
交通銀行株式六百萬元ハ國民政府ノ持株トシ額額四百萬元ハ民間ノ持株トスルコト
右國民政府ノ持株ハ之ヲ中央儲備銀行ニ讓渡シ中央儲備銀行ハ讓受株式ニ相當スル對價（中國銀行分一千萬元、交通銀行分六百萬元）ヲ國民政府ニ支拂フコト
國民政府ハ右受領シテ民國三十一年令融安定公債特種會計ニ受入レ公債償還資金ニ充當スルコト
三 兩銀行從來ノ民間株主ヲシテ適當期間内ニ其ノ持株數ノ届出ヲナサシメ、右届出株主ニ對シテハ其ノ敵性關係ナキモノ又ハ敵性關係ヲ斷絶シタルモノニ限り二對一ノ割合ヲ以テ新株式ヲ交付スルコト、右期間内ニ届出ヲナサザル株主及ビ敵性關係株主ハ失權シタルモノト看做シ失權株式ハ國民政府ニ歸屬セシムルコト

國民政府ハ右株式ヲ三ノ三項ニ準ジ中央儲備銀行及三興商業銀行等ニ讓渡シ中央儲備銀行ハ必要ニ應ジ同株式ヲ公開シ得ルコト
四 兩銀行役員ハ日支協議ノ上中央儲備銀行、兩銀行關係者其ノ他財界有力者中ヨリ之ヲ選任スルコト
五 兩銀行ハ差當リ上海ニ於テ本店並ニ二、三ノ市内店舗ヲ開業シ情勢ニ應ジ遂次中文部ニ於ケル他ノ地ニ於テモ開業セシムルコト
中文部以外ノ地ニ於ケル兩銀行分支行ハ諸般ノ情勢ト睨ミ合セ將來適當措置スルコト
六 兩銀行ノ資産中敵性財産ト認ムヘキ債務ニ相當スル資産ハ之ヲ別除シ當該債務ト共ニ我方ニ移管スルコト
七 兩銀行開業ニ至ル迄ノ諸般ノ準備（株式ノ處理、資産負債ノ處理等）ヲ爲ス爲メ日支双方ヨリ成ル中國、交通兩銀行處理委員會ヲ上海ニ設置スルコト
八 開業後ノ經營ハ左記ニ依ルコト

兩銀行ハ發券權ヲ有セザルハ固ヨリ銀行業同業公會聯合準備委員
會、錢業聯合準備庫並ニ一統商銀行莊ニ對スル親銀行トシテノ
關係ヲ斷絶シ中央儲備銀行ノ統制下ニ經營セシムルコト
中央儲備銀行ハ兩銀行ノ手許狀況ニ依リ特別融通ヲ爲スコトヲ考
慮スルコト

兩銀行ハ與地金融並ニ産業金融ニ重點ヲ置キ經營セシムルコト
兩銀行ニ日本人顧問及顧問附ヲ置キ中央儲備銀行顧問又ハ同顧問
附ノ者ヲシテ其ノ任ニ當ラシメ現地日本側機關ト密接ナル連絡ヲ
執ラシムルコト

九日本側ノ中國、交通兩銀行ニ對スル借款ハ本件ノ兩行改組復業ニ關
係無ク日本側ハ其ノ債權ヲ留保スルコト
斯クシテ七月八日右處要綱ニ基キ兩行ノ開業ニ必要ナル事項ヲ一切
處理決定スル爲左記ノ如キ日支双方ヨリ成ル中交兩行處理日支混合委
員會正式ニ成立ヲ見タリ。又同時ニ處理原案作成ノ爲ノ下部組織タル

幹事會モ前記委員會ヲ構成スル各機關ヲ單位ニ各一名ヲ選出シ同日成
立シタリ。

◎中國、交通兩銀行處理ノ爲メノ日支混合委員會章程

第一條 本委員會ハ中交兩行處理日支混合委員會ト稱ス

第二條 本委員會ハ左ノ者ヲ以テ構成ス

日本側 文部方面監除參謀部長、登部隊參謀長、與亞院監中連絡部
次長、在上海公使

中國側 財政部長、中央儲備銀行副總裁、外ニ兩銀行董事長タルベ
キ者二名

委員長ハ日支雙方交代トス

第三條 本委員會ニ幹事會ヲ置キ幹事會ハ左記ノ者ヲ以テ構成ス

日本側 方面監兼主計長、七號出張所長、與亞院監中連絡部財務局
長、在上海大使館書記官

中國側 財政部司長、中央儲備銀行副總裁、同副顧問、外ニ兩銀行

七月八日午後十一時二十分ヨリ儲備銀行上級分行ニ於テ左記ノ如ク
一 同中銀行連日混合委員會議議セラレタリ
二 同中銀行連日混合委員會議
三 昭和十七年七月八日午前十一時二十分、十二時
四 同中銀行連日混合委員會議
五 同中銀行連日混合委員會議
六 同中銀行連日混合委員會議
七 同中銀行連日混合委員會議
八 同中銀行連日混合委員會議
九 同中銀行連日混合委員會議
十 同中銀行連日混合委員會議
十一 同中銀行連日混合委員會議
十二 同中銀行連日混合委員會議
十三 同中銀行連日混合委員會議
十四 同中銀行連日混合委員會議
十五 同中銀行連日混合委員會議
十六 同中銀行連日混合委員會議
十七 同中銀行連日混合委員會議
十八 同中銀行連日混合委員會議
十九 同中銀行連日混合委員會議
二十 同中銀行連日混合委員會議

0217

七月八日午前十一時二十分ヨリ儲備銀行上級分行ニ於テ左記ノ如ク
一 同中銀行連日混合委員會議議セラレタリ
二 同中銀行連日混合委員會議
三 昭和十七年七月八日午前十一時二十分、十二時
四 同中銀行連日混合委員會議
五 同中銀行連日混合委員會議
六 同中銀行連日混合委員會議
七 同中銀行連日混合委員會議
八 同中銀行連日混合委員會議
九 同中銀行連日混合委員會議
十 同中銀行連日混合委員會議
十一 同中銀行連日混合委員會議
十二 同中銀行連日混合委員會議
十三 同中銀行連日混合委員會議
十四 同中銀行連日混合委員會議
十五 同中銀行連日混合委員會議
十六 同中銀行連日混合委員會議
十七 同中銀行連日混合委員會議
十八 同中銀行連日混合委員會議
十九 同中銀行連日混合委員會議
二十 同中銀行連日混合委員會議

真ノ他幹事及秘書等十三名

合計二十一卷

商委員會ニ於テ副財政部長委員長トシテ左記要旨ノ報告ノ挨拶ヲ述ベ
 「本日中國交通兩行處ニ日韓混合委員會爲一回會議ノ請儀ニ當リ當中
 ノ折衝ニモ河ラズ閣下並各位ノ御來臨ヲ尋ウシ感謝ニ盡スルベシ。中國
 交通兩行ハ昨年十二月八日大東亞戰爭勃發ト共ニ日本軍ノ侵襲途駐以
 來軍警嚴下ニ置カレテ來リガ、此度日本當局ノ御好意ニ依リ其ノ復舊
 復業ヲ亮ルコト、ナツタニ兩行ニ代ソテ私ヨリ厚ク御禮ヲ呈シ
 上ゲル。
 兩行復業問題ニ關シテハ日本大東亞下國民政府ノ同意ニ於テ再三再
 四協議ノ結果其ノ根本方針ヲ決定シ、右ニ基イテ本日正式成立ヲ見ル。
 本委員會ガ此ノ趣旨ニ基キ兩行一切ノ請儀準備ニ當ルコト、ナツタ。
 本委員會ノ速ニ各委員長三幸シ、委員長ハ日支交代之ニ當ルコト、ナ
 ツテ居ル。今回第一回ノ會議ハ中國側ノ委員長之ヲ幸シ、第二回ノ

會議ハ日本側ノ委員長之ヲ三幸セルコトナリ。本日午前ハ委員會
 午後ハ幹事會ノ請儀トナツテ居ル。

次ニ本日ノ委員會ニ於テ私ハ附帶的ニ次ノ二ノ希望ヲ申述ベシ。
 一 兵隊ノ駐留ニ慮スル爲出來ル支早ク復業サセ履イ、出來レバ九月

一日ヨリ復業サセ履イ。

二 上程ニ於テ兩行ノ本店復業後ハ其ノ口方面、北、西方面ヲ以

テ漸次之レニ基キ復業サセテ頂キ履イ、更ニ從前各埠各埠ニ付各埠
 分設行街ハバ、**旅順**、**高麗**、**清尼拉**等ノ地方ニ於テハ漸次上程

行、**浦善**下ニ於テ復業サセテ頂キ履イ、**旅順**、**高麗**、**清尼拉**等ノ地方ニ於テハ漸次上程

行、**浦善**下ニ於テ復業サセテ頂キ履イ、**旅順**、**高麗**、**清尼拉**等ノ地方ニ於テハ漸次上程

行、**浦善**下ニ於テ復業サセテ頂キ履イ、**旅順**、**高麗**、**清尼拉**等ノ地方ニ於テハ漸次上程

行、**浦善**下ニ於テ復業サセテ頂キ履イ、**旅順**、**高麗**、**清尼拉**等ノ地方ニ於テハ漸次上程

行、**浦善**下ニ於テ復業サセテ頂キ履イ、**旅順**、**高麗**、**清尼拉**等ノ地方ニ於テハ漸次上程

行、**浦善**下ニ於テ復業サセテ頂キ履イ、**旅順**、**高麗**、**清尼拉**等ノ地方ニ於テハ漸次上程

行、**浦善**下ニ於テ復業サセテ頂キ履イ、**旅順**、**高麗**、**清尼拉**等ノ地方ニ於テハ漸次上程

行、**浦善**下ニ於テ復業サセテ頂キ履イ、**旅順**、**高麗**、**清尼拉**等ノ地方ニ於テハ漸次上程

行、**浦善**下ニ於テ復業サセテ頂キ履イ、**旅順**、**高麗**、**清尼拉**等ノ地方ニ於テハ漸次上程

イ、銀行ノ行ハ、銀行デアツト共ニ民ノ銀行デ
デキアリ、二國ノ民生ノ發展ニ貢献シテハ、コトハ紛シトシナイ。
銀行ノ復業ニ際シテハ、飽ク迄は、併合スルト共ニ民生安寧、舊業
復興ヲ目トスル如ク本委員会ノ審議ニ當リテハ、御留意アリ候イ、此
點幹事會ニ於ケル原案作派ニ當リテハ、御留意アリ候イ。
終リテ私個人トシテ、長ク兩行ニ對リ且ソ日支間通ニ盡サレ、コト紛
クナイ善隣民、吳慶修兩氏ノ意見ヲ委員會ニ於テ尊重サレシコトヲ希
望スル、尙委員會長希望事項ニ對シテハ、自分モ亦其ノ様ニ其ノ違フ
コトヲ希望スル者デアラフ。
尙同日同委員會ニ於テ決議シタル事項左ノ如シ。
○決議事項
一、本委員會ハ兩行併業ニ關スル諸事項
二、兩行株式ノ處理方法
三、兩行管理責任ノ處理方法

ハ、他兩行ノ請業準備ニ必要ナル事項
ニ付、其作派方ヲ幹事會ニ委嘱スルコト
ニ第一回中、使、兩行處長、委員會新編發表記事ハ、幹事會ニ於テ決定、
上發表スルコト
次ニ第一回幹事會ハ午前ニ引續キ左ノ如ク午後二時ヨリ閉會セラレタ

◎中、交兩行處理日華混合委員會第一回幹事會

日時 昭和十七年七月八日午後二時—三時

會場 中央儲備銀行上海分行會議室

出席者 幹事 會長 小原正樹

日本側幹事 會根益

代理 前田孝太郎

代理 石田勲

中國側幹事 錢大鈞

張素民

吳慶修

唐壽民

成瀨綱次郎

日本側檢查人 福間忠二郎

中國側秘書 中島福三郎

汪仲陶

中島清光

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

汪仲陶

小原財務局長幹事長トナリテ委員會ヨリ委囑ヲ受ケタル兩行處理ノ
原案作成方ニ關シ幹事會ニ於ケル審議立案事項トシテ左記各項ヲ披
露説明シタリ。

◎幹事會ニ於ケル審議立案事項

一、中國交通兩行ノ改組復業ニ關スル財政部佈告案及兩行處理ニ關スル
法制的措置ニ關スル件

二、兩行定款ノ改正及役員ノ構成ニ關スル件

三、兩行内ニ夫々復業準備事務所ヲ設置スル件

四 兩行株式ノ處理方法

1. 舊株主ノ報告期間及報告場所ノ件
 2. 舊株主ニ對スル通知方法
 3. 舊株主ニ對スル敵件判定方法
 4. 舊株主ニ對スル新株式交付方法
 5. 株式ノ様式、同印刷ノ件
 6. 株式ノ額面額ノ件
 7. 新株式ト交換シタル舊株式ノ處理方法
 8. 舊株券ノ取引禁止ノ件
 9. 國民政府ノ重慶政府繼承分ノ新株券ノ復業前儲備銀行へノ譯渡ノ件
 10. 株式ノ處理期間ト開業ノ時期、問題
- 五 資産負債處理ノ件
1. 資産負債ノ評價ニ關スル件

2. 敵件資産負債處理ノ件

3. 同業者預ケ金預リ金ノ處理ノ件
 - (A) 對委員會及準備庫ヨリノ預リ越ノ處理
 - (B) 其他ノ一般華商銀行莊トノ預ケ金預リ金ノ處理
 - (C) 敵件外銀ニ對スル預ケ越ノ處理
 - (D) 中國銀行ノ交通銀行ニ對スル預ケ越ノ處理
 - (E) 中央、中國農民兩行ヨリノ預リ越ノ處理
4. 不動産ノ處理
 - (A) 上海地産公司名義ノ不動産ノ處理
 - (B) 軍管理下ニ在ル兩行不動産ノ處理
5. 總行勘定ノ資産負債ノ處理
6. 外債債權債務ノ處理
- 六 兩行開業時期ニ關スル件
- 七 從前、兩行ノ員ニ對スル處置ノ件

八、兩行復業後ノ營業店ニ關スル件

九、幹事會ハ中國、交通各行別ニ開催スルモ、此ノ場合中國銀行處理幹事會ニハ交通銀行關係者ハ出席セズ。交通銀行處理幹事會ニハ中國銀行關係者ハ出席セズ。兩行共通事項ニ關シテハ合同幹事會ヲ開催シ處理スルノ件

一〇、幹事會ニ専門事項ヲ審査スル爲小委員會ヲ設置スルノ件

同日同幹事會ニ於テ決議セル事項左ノ如シ。

◎決議事項

- 一、委員會幹事會ハ原則トシテ中央儲備銀行内ニ於テ開催ノコトトス。議事録ハ中央儲備銀行ニ於テ取纏メルコト
- 二、開業ヲ速カナラシムル爲メ成ルベク頻繁ニ開會ノコトトス。幹事會ニ提案ノ原案ハ興亞院及中央儲備銀行側幹事ニ於テ作成シ、吳、唐兩氏ハ夫々右原案作成ニ參加スルモノトス
- 三、參考資料ハ出來次第幹事ノ手許ニ配布ス

四、審議事項ニ關スル委員會發表以外ノ個別發表ハ差控ヘルコト

五、新聞發表談話一別紙参照ニテ決定

尙同日兩行處理ニ關シ同委員會、發表セル所左ノ如シ。

◎中、交兩行處理日華混合委員會開催ニ關スル委員會發表

中支那、中國、交通兩銀行ノ處理ニ關シテハ、曩ニ上海方面陸海軍最高指揮官並ニ國民政府財政部ヨリ佈告アリタル通り中支那金融界安定、爲メ兩銀行ヲシテ重慶側ト、關係斷絶等適當之ヲ改組ノ上其ノ業務ヲ開始セシムルコトニ決定セラレタリ、爾後日華双方協議檢討シタル結果敵性ナキ株主、預金者保護ニ重キヲ置クコト、兩銀行準備ニ關スル實際ノ處理ハ中交兩行處理日華混合委員會ニ於テ之ヲ行フコト等ヲ内容トスル兩銀行處理要綱ノ妥結ヲ見タリ。

右要綱ニ基キ本日本日日本測、陸海軍現地當局、在上海公使、興亞院、中連絡部次長、中國側、財政部長、中央儲備銀行副總裁、並ニ兩銀行關

係者ヲ以テ構成スル中交兩行處理日華混合委員會ノ正式成立ヲ見タリ
ルコトトナリ、本日ハ財政部長委員長トシテ會議ヲ主宰シ左記事項ヲ
決定セリ。

一、本委員會ハ日華双方協議ノ結果決定ヲ見タル中國、交通兩銀行處理

要綱ニ基キ兩銀行ノ開業ニ關スル一切ノ事項ヲ處理スルコト

ニ本委員會ハ兩銀行開業ニ關スル左ノ事項ニ付キ原案作成方ヲ幹事會

ニ依囑スルコト

(1) 兩銀行株式ノ處理方法

(2) 兩銀行資産負債ノ處理方法

(3) 其他兩銀行ノ開業準備ニ必要ナル事項

右ニ基キ委員會及ヒ幹事會ニ於テハ約二ヶ月内ニ開業スルコトヲ目標

トシテ具体案ノ作成ニ着手シタリ。

又デ七月十五日第二回幹事會ヲ左ノ如ク開催セリ。

10
75

0223

小原幹事長司會、下ニ左記事項ヲ決議セリ。

一、第二回中交兩行處理委員會議題

二、中交兩行ノ復業方針ニ關スル處理委員會發表案

四、第二回中交兩行處理日華混合委員會

七月十八日午前十時十五分ヨリ第二回處理委員會ヲ左ノ如ク開催セ

リ。
堀内委員長司會、下ニ第二回幹事會ニ於テ決定ヲ見タル左記三議案

ヲ上程委員長ヨリ説明アリタリ。

一、第二回中交兩行處理委員會議題

二、中交兩行處理委員會發表案

第一議案、中交兩銀行株式ノ處理方法ニ關シテ一項目修正ノ上左記ノ如

ク可決セラレタリ。
第二議案ニ關シテハ左記原案通り可決セラレタルモ其發表時期ハ之

ヲ幹事會ニ一任シ並ニ株券處理ニ關スル新聞廣告並ニ株主ヘ、廣告
文案作成並ニ其發表時期モ幹事會ニ一任ノ上散會セリ。

◎第二回中交兩行處理委員會決議 (二七七—一八)

一、中交兩行處理日華混合委員會ヲ中交兩行處理委員會ト略稱スルコト
二、兩銀行ノ改組復業ニ關スル處理委員會公表案及兩銀行處理ニ關スル
法制的措置ニ關スル件

中國銀行條例、交通銀行條例ハ復業兩銀行ガ其儘本店ヲ重慶ヨリ上
海ニ移スト云フ建前ヨリ之ヲ適當修正シテ存置セシムルコト

定款ノ改正案ハ處理委員會ニ於テ原案ヲ作成、國民政府ニ對シ右定
款並ニ兩銀行復業ノ趣旨ニ即應スル如ク條例ノ改正ヲナス様處理委
員會ヨリ要請スルコト

兩銀行復業ノ法的根據ハ兩銀行條例ノ改正公布ニアルモ復業ノ方針
ハ日支双方協議ノ結果決定シタル兩銀行處理要綱ニ依ルコトヲ要ス、

右要綱中ニハ株式ノ處理等至急對外的ニ公知セシムルコトヲ必要ト
スルモノアルガ故ニ其ノ大綱ヲ處理委員會ノ名ニ於テ公表スルコト
(公表文別紙ノ通リ)

三、兩銀行定款ノ改正及役員ノ構成ニ關スル件

定款ノ改正案ハ次會幹事會ニ提案スルコト

役員ノ構成ハ董事長ノ下ニ常務董事制ヲ以テ一切ノ行務運營ニ關シテ
シムルコト(總經理制度ハ之ヲ廢止スルコト)

役員ノ員數ハ左記ノ如クスルコト

董 事 十一名

内三名ヲ常務董事トシ常務董事中一名ヲ董事長トスルコト

監察人 五 名

四、兩銀行復業準備事務所ヲ兩銀行現在ノ上海分行内ニ設置スルコト

中國銀行復業準備事務所長ハ吳震修、交通銀行復業準備事務所長ハ
唐壽民トシ、所員ハ現在ノ行員ヲ以テ之ニ充ツルコト

五 兩銀行株式ノ處理方法

1. 舊株主ノ報告期間及報告場所ノ件
處理委員會ニ於テ復業案發表後六ヶ月以内ニ届出チ爲サシメ、届出牛ハ兩銀行復業準備事務所（復業後ハ上海總行）トスルコト
2. 株主ニ對スル通知方法
處理委員會ノ名チ以テ公告スル外新聞廣告等適當周知セシムル方法ヲ採リ、別ニ兩銀行夫々和平地區内在住ノ知レタル株主ニ通知狀ヲ發スルコト
3. 舊株主ニ對スル敵性判定方法
軍ニ於テ決定スルモ本委員會（兩行復業後ハ兩行總行）ニ於テ軍ニ連絡援助スルコト
4. 舊株主ニ對スル新株式交付方法
舊株券ト現實ニ引換ヘ且引換時期ハ敵性判定措置等終了後トスルコト

78
77

0225

5. 株式ノ額面額ノ件

- 株式ハ一株國幣五十圓トシ、株券ノ種類ハ一株、十株、一百株、一千株及一萬株ノ五種ニ分ツコト
6. 新株式ト交換シタル舊株式ノ處理方法
廢棄處分ニ附シ、廢棄證券ハ後日ノ爲メ一應保管スルコト
7. 舊株券ノ取引禁止ノ件
國民政府ニ對シ取引禁止ニ關スル法令公布ヲ要請スルコト

8. 國民政府ノ重慶改權時株繼承分ヲ中央儲備銀行ヘ譲渡ノ件

9. 株式處理期間ト開業ノ時期
開業迄ニ中央儲備銀行ガ株主トナル様措置スルコト

兩者ハ別個ニ取扱ヒ株式處理前ト雖モ準備完了ノ上ハ開業スルコト

六 資産負債處理ノ件

1. 資産負債ノ評價ニ關スル件
暫定的ニ六月末日現在ニテ資産負債ノ評價ヲ行ヒ委員會ニ於ケル

兩銀行開業準備ノ資料トスルコト（六月末日現在兩銀行資産負債
表別紙ノ通）

金、銀、不動産等ハ専門家チシテ鑑定セシムルコト

2. 敵性資産負債處理ノ件

敵性債務ハ現金同額ト共ニ日本側銀行ニ移換スルコト

敵性疑ハシキモノハ兩銀行内ニ留保シ日本側ト連絡ノ上適當處理
スルコト

3. 一般預金ノ處理

一般預金ハ全額之ヲ認メ無條件支拂チ原則トスルコト

4. 同業者預ケ金預リ金ノ處理ノ件

(1) 對銀行業同業公會聯合準備委員會、儲蓄聯合準備庫及ビ一般同
業者ヨリノ預リ越ノ處理

別途研究スルコト

(2) 敵性外銀ニ對スル預ケ越ノ處理

全額支拂チ受クルコトヲ建前トスルモ引出ハ必要ニ應ジ之ヲ行
フコト

(3) 中央、中國農民兩銀行ヨリノ預リ越ノ處理

免除チ受クル様日本側ニ懇請スルコト

5. 不動産ノ處理

不動産ノ處理ハ兩銀行復活ニ至大ノ關係アリ且ツ其ノ勘カラザル
部分ハ軍管理下ニアリ、本委員會ノミニテハ決定シ難キモノ多キ

モ適宜現地陸海軍ト連絡ノ上處理スルコト

6. 總行勘定ノ資産負債ノ處理

資産ハ之ヲ計上シ負債ハ之ヲ否認スルコト

7. 外貨債權債務ノ處理

別途處理スルコト

七兩銀行開業時期ニ關スル件

九月一日ヲ目標トスルコト

八兩銀行復業後ノ營業所ニ關スル件

○中國銀行

上海市内ノ店舗

總行（漢口路）

成都路辦事處（現狀ノ儘）

同平路

霞飛路

八仙橋

（現在漢口路ニアル虹口辦事處ヲ同所ヘ移轉セシム）

○交通銀行

上海市内ノ店舗

總行（靜安寺路）

南京路支行（現狀ノ儘）

成ルベク速カニ漢口路ニ設置スル
コトトシテ關係各方面ニ交渉ヲ進
ムルモ復業迄ニ實現セザル場合ノ
應急措置トシテ靜安寺路ヲ豫定ス

民國路支行（現狀ノ儘）

靜安寺路支行

霞飛路支行

九、從前ノ兩銀行ノ員ニ對スル處置ノ件

行員ハ奧地支店開設ニ備ヘ幾分餘分ニ保留シ、常勤行員ト非役行員

トハ暫時待遇ヲ別ニスルコト

一 備役ハ適當整理スルコト

0227

29

七月二十四日第三回幹事會左ノ如ク開催セラレタリ。
小委員等ハ不付不并調停會等ヲ代行司會セリ。
同日決議セル事項左ノ如シ。

◎決議事項

- 一、處理委員會發表事項ノ發表時期ハ「八月一日」トス
 - 一、新聞公告文及株主ヘノ通告文ヲ決定並其發表時期ヲ「八月一日」トス
 - 一、前兩項ノ發表地域ハ支那和平地區並ニ滿洲國トス
 - 一、斯クテ八月一日左ノ通リ中交兩行復業ニ關スル具体的方法ガ中交兩行處理委員會ヨリ支那和平地區及滿洲國ニ於テ一齊ニ發表セラレタリ。
- ◎中交兩行處理日華混合委員會發表（一七八一發表）
- 中國交通兩銀行ノ改組復業ハ日支双方協議ノ上現在、兩銀行ヲシテ重慶側トノ關係ヲ斷絶セシメ、兩銀行條例、定款、資本金、株主關係等ニ對シ現狀ヲ基礎トシテ適當ナル改正變更ヲ加ヘタル上存續復業セシムルコトナレリ。其、具体的方法左ノ如シ。

一、資本金ハ新法幣ヲ以テ中國銀行二千萬元、交通銀行一千萬元トスルコト

二、兩銀行從來ノ民間株主中敵性關係ナキモノ、又ハ敵性關係ヲ斷絶シタル者ニ限リ舊株式額面ニ對シ一割合ヲ以テ新株式ヲ交付スルコト

三、別ニ公告スル所定期間内ニ屆出チ爲ササル株主及敵性關係株主ハ失權シタルモノト看做スコト

三、兩銀行ハ適當ニ上海ニ於テ本店並ニ若干ノ市内店舗ヲ開業シ情勢ニ應シ中支那ノ他ノ地ニ於テモ開業セシムルコト

中支那以外ノ地ニ於ケル兩銀行分支行ハ諸般ノ情勢ト睨ミ合セ將來ノ適當措置スルコト

四、開業後ノ經營ハ左記ニ依ルコト

(1) 兩銀行ハ發券權ヲ有セサルコト

四兩銀行ハ中央儲備銀行ノ統制、下ニ一般商業銀行トシテ經營スル
コト

ハ兩銀行ハ奧地金融及ヒ遠東金融ニ重點ヲ置キ經營スルコト
五兩銀行開業ニ至ル迄、諸般ノ準備ハ中交兩行處理日華混合委員會、
名ニ於テ之ヲ行フコト

同時ニ第三回幹事會ニ於テ決定セラレタル中交兩行民有株株券ノ届出
ニ關スル左記新聞公告文モ發表セラレ、又兩行復業準備事務所ヨリ株
主ニ對シ左記ノ如キ通知書發セラレタリ。

◎中交兩行處理委員會新聞公告

中交兩行處理日華混合委員會ハ兩行民有株株券届出ノ事ニツキ次ノ如
ク公告ス。

中交兩行改組復業ニ關シテハ別ニ本委員會ニ於テ公表シタル通
兩行資本金ハ新法幣ヲ以テ中國銀行二千萬元、交通銀行一千萬元

36
77

トシ、兩行從來ノ民有株株主中敵件關係無キモノ又ハ既ニ敵件關
係ヲ斷絕シタル者ニ限リ舊株券額面ニ對シ一ノ割合（即チ舊株
券舊法幣建百圓ニ對シ新株券ハ新法幣建五十圓）ヲ以テ新株券ヲ
交付スルニ付キ各舊株主ハ八月一日ヨリ六ヶ月以内ニ舊株券並ニ
届出ノ印鑑ヲ携帶シ夫々左記兩行復業準備事務所ニ届出ヲ爲スベ
シ、若シ六ヶ月ノ期限ヲ過キ届出ヲ爲サザル者ハ失權シタルモノ
ト看做ス。尙還隔、地ニ在リテ直接前記復業準備事務所ニ就キ届
出手續ヲ採リ難キ向ハ復業事務所ニ空白印鑑用紙ヲ請求シ之ニ届
出、印鑑ヲ押捺シ舊株券ト共ニ書留郵便ヲ以テ兩行復業準備事務
所ニ送付スヘシ、兩行ヨリ別ニ書面ヲ以テ通知スル外特ニ茲ニ公
告ス。株主ノ注意並ニ遲レテ誤ラザランコトヲ希フ。

記

中國銀行復業準備事務所 上海靜安寺路五二六
交通銀行復業準備事務所 上海靜安寺路九九九

0229